

県立多治見病院 緩和ケア病棟便り

2023年6月号

発行：岐阜県立多治見病院緩和ケア病棟

【イベント予定】※新型コロナウイルスの流行によりイベント予定が変更になる可能性があります

岐阜県立多治見病院 緩和ケア病棟 行事予定表



日	月	火	水	木	金	土
				1 14時～ ハーモニカ演奏	2	3
4	5 14時～ マジックショー	6 15時～ ティーサービス	7 14時～ 音楽療法 14時～ 全身マッサージ	8 14時～ ハーモニカ演奏	9	10
11	12 14時～ 絵手紙	13 15時～ ティーサービス	14 14時～ 全身マッサージ 14時～ みれあい喫茶	15 14時～ 讃美歌とピアノ	16 14時～ 三輪	17
18	19 14時～ 音楽療法	20 15時～ ティーサービス	21 14時～ みれあい喫茶	22 14時～ ハープ演奏	23 14時半～ 法話	24 14時～ アニマルセラピー(おも)
25 	26	27 14時～ 園芸療法 15時～ ティーサービス	28 14時～ みれあい喫茶	29	30	
<p>※病棟のイベントは、緩和ケア病棟を退院した患者さんやその家族も参加できます。 都合により参加できない場合や中止の場合もあります。お電話か以下のメールでご確認ください。 電話：0572-22-5311（内線：7493 緩和ケア病棟師長） メール：kanwa@tajimi-hospital.jp</p>						

【コラム】

≪「見渡す」牧野富太郎≫



『いつもより広く、そして遠くまで』視野を広げれば、今まで気付かなかった新しい発見がありそうです。植物を愛し、その研究に打ち込んだ牧野博士の情熱から、私たちも生きるヒントと元気をもらいたいものです。

コロナもインフルエンザと同じく感染症5類となり1ヶ月が経ちます。私たち医療者は、自分を守る為、患者さんを守る為にマスクの使用は続けています。

世間はマスク除去が進んでいますね。少しずつ以前のように becoming いくことは嬉しいことですが、やはり3年の年月は、ボランティアを辞める人が増えたりして、長かったのだと感じます。

牧野博士のように視野を広げて、ウクライナ・ロシアの戦争による被害、つまり卵や乳製品などの高値、電気代・水道代の高値など、世の中の流れもみていく必要があります。そして、どのように生活を営むべきか考えていきたいと思うようになりました。

また、若葉から緑化した景色にも目を向け心豊かに感じていきたいとも思うようになりました。



ボランティアコーディネーター：河村銘子